

次号予告

特集 データマイニング

相関ルールとその周辺	岡田 孝 (関西学院大学) 元田 浩 (大阪大学)
マーケティングにデータマイニングを活かす	佐藤雅春 (NTTコムウェア)
リレーションシップ・データへのデータマイニングの適用	鶴田育緒, 後藤正輝, 香田正人 (筑波大学)
データマイニングを企業で成功させる方法	大内雅晴 (日本アイ・ビー・エム)
海外におけるデータマイニング事例	山端 博 (日本アイ・ビー・エム)

編集後記

● W杯で世界中が大いに盛り上がりました。今回の大会は、フランス/アルゼンチンといった優勝候補が予選リーグ敗退。開催国の日本/韓国だけでなく、セネガルなど今までサッカー界では、なじみの薄かった国が目立つ大会でした。にわかサッカーファンの小生にも、サッカーでの戦略の重要性は認識できました。サッカーでは、個人の技量は確かに重要です。しかし、W杯レベルの大会になると、個人の技量は高いレベルに達しているため、他の大会にも増して勝つための戦略の重要性がクローズアップされていました。

● 今回の特集は、ビジネスモデルです。ビジネスモデルという言葉の定義は、実にあいまいです。広辞苑でも定義されていませんでした。通常は、「どのようにビジネスを行い、収入を得ているかを表す漠然とした概念」を表しています。最近では、インターネット・ビ

ジネスを表す「eビジネス」「e戦略」といった言葉もあります。ビジネスモデルでは、インターネットは必須ではありません。産業構造に立脚した、経済的価値を創出する戦略が重要です。大局を見渡して戦略を立てるといふ点では、サッカーとの類似点があります。すぐに結果がわかるという点でも似通っています。

● さて、今月号ではビジネスモデルを様々な立場で取り上げました。3件の企業内での実施例、ビジネスモデルの起業化と特許面での考察です。通常の特集号に比べて、数式の少ない読み物的な内容となっています。日本経済は、まだまだ厳しい局面です。しかし、厳しいなかにも様々な取り組みが、多方面で行われています。少しでも今回の特集が参考となり、新しいビジネスモデルが数多く産み出されることを期待したいと思います。(原 裕淳)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 上田 徹(成蹊大学) 副委員長 高橋敬隆(早稲田大学)

委員 池上敦子(成蹊大学), 大澤義明(筑波大学), 大屋隆生(財電力中央研究所), 小沢利久(駒澤大学), 杉野隆(国士館大学), 高橋一喜(東京ガス株), 中川慶一郎(株NTTデータ), 中川義之(株住友金属システムソリューションズ), 生田目崇(専修大学), 難波和明(東京理科大学), 原 裕淳(東芝ITソリューション株), 平山克己(北九州市立大学), 松村良平(東京工業大学), 三浦英俊(明海大学), 矢田 健(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成 14 年 8 月号 第 47 卷 第 8 号 通巻 500 号

代表者 小笠原 暁

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 上田 徹

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-4-2 〒151-0051

● 本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円 (本体 924円) 年間予約購読料 11,040円 (税含)

● 本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337) へ